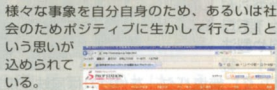


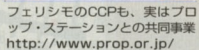
「チャレンジジンド」

英語で「障害を持つ人」を表す新語。「The challenged (神から挑戦する機会を与えられた人)」を語源にした言葉だ。

障害を持つ人の自立を支援する社会福祉法人プロップ・ステーション(本部・神戸市)は、1995年から「チャレンジジンド」という呼称を提唱。この言葉には、代表を務める竹中ナミさんの「障害を持つゆえに体験する様々な事象を自分自身のため、あるいは社会のためポジティブに生かして行こう」という思いが込められている。



日本にも定着しつつある「チャレンジジンド」。語源もすっかり覚えよう!



フェリシモのCCPも、実はプロップ・ステーションとの共同事業 <http://www.prop.or.jp/>



*ビスケットみたいな手袋本革のネーム&パスホルダー

作業所メードのさをり織りを部分使い。色合いがポイント

*さをり織りとレース使いのカメラストラップ

染料を重ねてできる緑の「揚げ目」をチャレンジジンドの手で



●(株)フェリシモ
☎0120-055-820
<http://www.felissimo.co.jp/>



▲フェリシモのカタログ。「アトリエメイド」シリーズにもチャレンジジンドが参加している

製作の「工程を」「チャレンジジンド」(障害を持つ人)が担っている。「単なる支援ではありません。一緒に商品を作っているんです」と話すのは、同社で商品企画に携わっている永富恭子さん。製品素材となる本革の染色、さをり織りの製織など、小規模

作業所で施される手仕事か「商品の付加価値を高めてくれる」と表情を緩める。同社にとってチャレンジジンドは、ビジネスパートナー。規格基準や検品も他製品と同様に厳しい。「でも、「無理かも」と思っていた作業が出来ようになる達成率は、驚くほど高い」と永富さん。

企業との協働で、出来ること「の幅が広がり、仕事に自信がつく」。かわいいアイテムが、自然とチャレンジジンドの幸せにつながる。なんて、何だかうれしい。

「ステキ」をおあつらえ

記者のようながきつちよには、手芸品を自分好みに仕立ててくれる作業所が頼



▲記者が注文したブックカバー。9月号の読者プレゼントはこれでした



▲一針一針丁寧に。皆さん、記者より器用です



▲販売スペースの向こうは作業所

ステキ♡かわいい♡ ゆっくり仕立てのキュート雑貨

「買う時はいつもチャリティー気分」なんて、もう言わせない。小規模作業所で作られるイマドキの自主製品は、自然と欲しくなるスグレモノが主流です。 山南紀子

愛らしさ「目ぼれ

神戸の須磨寺駅近くで、ナチュラルティストな雑貨店を見つけた。

刺し子やさをり織りの布小物を中心に、バッグ、アークセサリー、置き物など、温もりあるハンドメイドがいっぱい。ディスプレイや封シールのロゴもセンスがいっぱい。「プレゼンにもいいな」と、刺し子のポーチを衝動買いしてしまいました。乙女心をくすぐる同店「shop小春日和」は、実はNPO法人「萌友・for you」が運営する就労支援施設。胸キュンの愛らしいアイテムの多くは、障害を持つ人が作った自主製品(授産品)だ。

欲しくなる物を作る

授産品と言えば、素朴で温かい手作り感が身上。しかし一方で、どこかあか抜けない印象が……というのが、今や少数派。近年はトレンドを取り入れたイイ感じの商品が増えている。萌



shop小春日和
神戸市須磨区須磨
本町1-3-22
☎078-732-6225



プレゼント



「萌友」の刺し子ミニポーチ(900円)を3人に。デジカメや化粧品入れにぴったりです。23日の応募要領で。プレゼント番号=80、品名=ミニポーチ

▲就労支援施設に併設された店「shop小春日和」。欲しいもの、いっぱい!

大手企業も注目

丁寧な手仕事の妙味に、企業も注目。障害を持つ人と消費者を結びバイブ役にもなっている。

通販大手のフェリシモ(本社・神戸市)では、「チャレンジジンド・クリエイティブ・プロジェクト(CCP)」を展開。手作り感ある商品の自主製品が評価されているのだ。



萌友-for you
☎078-733-3131

▲萌友の作業風景。*職人の目、で製作に取り組む